

津久見港



大分県土木建築部港湾課

〒870-8501 大分市大手町3-1-1

☎097-536-4614(代)

URL : <https://www.pref.oita.jp/soshiki/17300/>

1. 概況

津久見港は、県南リアス式海岸線により形成された津久見湾の湾奥に位置し、東は豊後水道を経て愛媛県の南西部海岸、佐田岬より宇和島港に至る海岸線に相對しており、地形、水深にめぐまれた天然の良港として、往時より内海交通の要衝として繁栄してきた。

港の北部は臼杵湾と津久見湾を分離する突出海岸線の半島となり、西部は本港取り扱い貨物の大半を占める石灰石資源の供給地である。石灰岩山塊が広がり、港湾施設の大半はこの地区に所在している。東側は漁船等の泊地として利用され、大部分は道路護岸または自然水際地である。また、青江川、津久見川等五河川が港湾内に流入しているが、いずれも小河川で港内水深の急変は見られない。

本港にひかえる津久見市は、人口14,311人（令和6年現在）で、日本有数の生産量を誇る石灰石を原料としたセメント工業を基幹産業としている。一方、リアス式海岸特有の傾斜地を利用した津久見みかんは、その質、量とも古くから知られている。

津久見港は、遠く江戸時代に石灰焼きに始まり、明治後期わが国にセメント工業・製鉄工業ならびにソーダ工業が開発されるにおよんで石灰石需要は急増し、これとともに港湾は著しい伸長を來たした。大正5年、国鉄日豊本線の開通後、石灰石と良港に着目して、この地にセメント企業の開始を見るに至った。

その後、昭和3年税関の設置、昭和9年内務省指定港湾編入とともに津久見港港湾施設の整備必要性が痛感され、修築工事の議が起こった。これにともない昭和13年計画立案のの

ち昭和15年より修築工事に着手した。また、昭和13年小野田セメント津久見工場の発足により、津久見港は石灰石はもとより、セメントの積出港として名実共に鉱工業港として発展の端を開いたわけである。

戦後、昭和23年運輸省によって本県唯一の産業整備港として整備が進められ、昭和26年には-9m岸壁1バースが完成し、1万トン級の船舶の接岸も可能となった。また、この間昭和24年9月東九州唯一の開港に指定され、ヨーロッパ各国および東南アジア諸国との交易はいよいよ盛んとなり、昭和26年12月重要港湾指定および昭和27年の指定保税地域指定を経て、港勢は急速な発展を遂げ現在に至っている。現在、大型けい船舶施設の大半は企業の専用岸壁等で占められており、全延長2,740m、計27バースとなっている。

また、津久見港は、リアス式海岸に面した急峻な地形のため、都市機能を拡充していくための用地の確保が課題であり、青江地区で進められてきた再開発は、港湾機能を拡充するとともに、その背後を埋立て都市機能用地等として利用されている。

さらに、津久見港においては、掘地と港湾の距離が非常に近接している優位性等から、セメント内でも高い競争力を有し、今後とも安定した生産活動が営まれるものと考えられるため、物流機能の拡充や石灰石鉱山からの発生土の処分地の確保など、これらの基幹産業を支える工業港としての機能をさらに充実させていく必要がある。

このため、本港の主力貨物である砂利・砂・石材や石灰等を適正かつ効率的に取扱うため、平成30年に、堅浦地区に-7.5m岸壁1バースが供用開始した。

2. 港勢

入港船舶

種別	合計		30,000総トン以上		10,000総トン以上 30,000総トン未満		6,000総トン以上 10,000総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	122	1,970,884	27	880,224	47	743,929	42	316,757
内航商船	10,183	8,967,986	3	99,372	16	252,512	57	415,777
自航 その他								
合計	10,305	10,938,870	30	979,596	63	996,441	99	732,534

種別	3,000総トン以上 6,000総トン未満		1,000総トン以上 3,000総トン未満		500総トン以上 1,000総トン未満		5総トン以上 500総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	4	23,988	2	5,986				
内航商船	867	4,275,309	150	238,416	1,961	1,412,305	7,129	2,274,295
自航 その他								
合計	871	4,299,297	152	244,402	1,961	1,412,305	7,129	2,274,295

最大入港船舶のトン数 総トン(喫水 m)

海上出入貨物

項目	合計		農水産品		林産品		鉱産品		金属機械工業品	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	2,592,679	100.0					575,735	22.2		
輸入	393,434	100.0					239,001	60.7		
計	2,986,113	100.0					814,736	27.3		
移出	17,580,470	100.0					15,596,065	88.7		
移入	1,165,166	100.0					1,151,557	98.8	650	0.1
計	18,745,636	100.0					16,747,622	89.3	650	0.0
合計	21,731,749	100.0					17,562,358	80.8	650	0.0

項目	化学工業品		軽工業品		雑工業品		特殊品		分類不能のもの	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	2,016,944	77.8								
輸入	154,433	39.3								
計	2,171,377	72.7								
移出	1,983,934	11.3	471	0.0						
移入	12,959	1.1								
計	1,996,893	10.7	471	0.0						
合計	4,168,270	19.2	471	0.0						

外貿コンテナ貨物取扱量

項目	フレートトン	TEU	
		実入り	空コン
輸出			
輸入			

乗降人員

	合計	乗込人員	上陸人員
外国航路			
内国航路	91,022	45,511	45,511
計	91,022	45,511	45,511

3. 港湾施設

区分 埠頭名	けい船施設					荷さばき施設					主な取扱貨物
	バース名	前面水深(m)	延長(m)	最大けい船能力(DWT)	船席数	荷役機械			上屋		
						機械名	揚力(t)	基数	棟数	使用面積(m ²)	
(公 共)	-7.5m 岸壁	7.5	130	5000	1	積込機	1,000	1			砂・砂利
	-6.0m 岸壁	6.0	106	3,000	1						砂・砂利、石灰石
	-5.5m 岸壁	5.5	90	2,000	1						砂・砂利
	-4.5m 岸壁	4.5	60	700	1						〃
(私 設)											
小野田セメント(株)	第1工場出荷岸壁	8.0	80	8,000	1	積込機	200 75	1	2	1,291	セメント
	第2工場出荷岸壁	8.0	119	8,000	1	場内セメント 撒積機	150	2	1	1,255	〃
	第2工場 コークス水揚岸壁	8.0	53	8,000	1	1号水切C	70	1			鉱産品
	第2工場 原料水揚岸壁	5.0	44	1,000	1	2号水切C	120	1			〃
	第2工場 石膏水揚岸壁	5.0	44	1,000	1	重油水揚配管	350	1			〃
	第2工場 石膏水揚棧橋	10.0	185	10,000	1	門型水平引込 C	500	2			〃
	-9.0m 岸壁	9.0	163	10,000	1	クリンカ船出機	450 650	1	1	950	セメント
	第2工場野島棧橋	13.0	168	50,000	1	Bバース 石灰石船積機 Bバース セメント船積機	2,000	1			鉱産品
	第2工場 重油水切棧橋	8.0	65	8,000	1	マリンLA	550	1			石油類
	第2工場 粘土水切棧橋	6.0	80×2 160	4,000	2	4号水切C	400	1			鉱産品
	-13.0m 岸壁	13.0	270	40,000	2						セメント
戸高 鉱業(株)	第1棧橋	11.0	170×2 340	8,000	2	第一棧橋 スタッカー	2,000	1			鉱産品
	第2棧橋	8.0	80×2 160	4,000	2	第2棧橋 スタッカー	1,500	1			〃
大分 鉱業(株)	大分 鉱業棧橋	7.5	48+46 94	5,000	2	船積ローダー	1,800	1			鉱産品
東九州石灰出荷 協同組合	出荷岸壁	4.5	60	700	1						〃
貝島化学(株)	3号棧橋	8.0	60×2 120	8,000	2	U B	1,200 200	1 1			〃
津久見 鉱業(株)	-8.0m 棧橋	8.0	101×2 202	8,000	2	船積ローダー	1,300	1			〃
日鉄 鉱業(株)	1号棧橋	8.0 ~ 11.0	125+ 93 218	35,000	2	B フローコンベアローダー エアスライダー	1,000 400 1,000 400	1 1 1 1			〃
	2号棧橋	5.5	30	1,000	1	第2ローダー	600	1			〃

保管施設		
区分	棟数	面積・容量
野積場 (セメント)	-	8,659m ²
(鉱産品)	-	40,648m ²
(雑貨)	-	481m ²
普通倉庫		
1~3類倉庫	11	14,870m ²
危険品倉庫	17	16,600m ²
野積倉庫	-	1,480m ²
貯蔵倉庫(サイロ)	39	176,500m ²
冷蔵倉庫	-	-
水面倉庫(貯木場)	-	-

泊地		
区分	水深(m)	面積(m ²)
錨泊地	9.0以上	1,250,000
はしけ溜	-	-
木材投下泊地	-	-
危険物泊地	-	-

港湾関連施設	
名称	延床面積(m ²)
港町休憩所	37
市営船休憩所	70

臨港交通施設	
名称	総延長(m)
臨港道路	1,485
新交通・鉄道	-
ヘリポート	-

4. コンテナターミナルの概要

該当なし

5. マリーナ

該当なし

6. 緑地

該当なし

7. 基地港湾

該当なし

8. ポートサービス

港湾運送

名称	所在地	電話番号	業種				
			一般	港湾荷役 (一貫)	船内	沿岸	はい しか だ
大分海運(株)	〒879-2442 津久見市港町7-17	0972-82-3138		○			
貝島化学工業(株)津久見事業所	〒879-2459 津久見市入船東町16-1	0972-82-2171		○			
津久見砥運(株)	〒879-2453 津久見市小園町1-29	0972-82-2403		○			
(株)中津留組	〒879-2443 津久見市セメント町15-5	0972-82-2111			○	○	○
日本通運(株)津久見営業所	〒879-2441 津久見市中央町1-31	0972-82-2153				○	

曳船

名称	所在地	電話番号	馬力	隻数
(株)中津留組	〒879-2443 津久見市セメント町15-5	0972-82-2111	185G/T	2

通船

名称	所在地	電話番号	隻数
津久見通船	〒879-2442 津久見市港町7-19	0972-82-2548	5
通船津港(有)	〒879-2435 津久見市宮本町23-25	0972-82-2248	3

医療・厚生施設

(港湾)

区分	名称	所在地	電話番号
総合厚生	津久見港湾会館	〒879-2442 津久見市港町8-6	0972-82-6325

9. 関係出先官公署

名称	所在地	電話番号
大分税関支署津久見出張所	〒897-2442 津久見市港町8-5(津久見港湾合同庁舎内)	0972-82-2325
九州運輸局津久見海運支局	〒897-2442 津久見市港町8-5(津久見港湾合同庁舎内)	0972-82-2274
大分海上保安部津久見分室	〒897-2442 津久見市港町8-5(津久見港湾合同庁舎内)	0972-82-2886
大分県白杵土木事務所	〒875-0041 白杵市大字白杵字洲崎72-254	0972-63-4136

